

分野別
将来像

災害に強く、犯罪に遭わずに、 だれもがより安全・安心に暮らせるまち

《将来像に込められたあるべきまちの姿》



《将来像につながるキーワード》

自助・共助・公助の適切な組合せによる防災・防犯まちづくり, 地域ぐるみによる防災・防犯体制の強化, 水害に強いまちづくり

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①自助・共助による災害に強いまちづくり

- ◆有事の際に住民同士で協力して助け合えるよう、平時から地域コミュニティの醸成を図ります。
- ◆地域住民や消防署との連携・協力, 都有地や都施設の有効活用など, 多様な主体との協働に根ざした防災体制の構築を図ります。
- ◆市民一人ひとりが地域の災害リスクを正しく認識し, 事前の備えや災害発生時には隣近所で助け合うことができるよう, 防災意識の向上と知識の普及・啓発を図ります。
- ◆地域主体の防災力を効果的・効率的に高めることができるよう, 地域住民にとって身近な公共施設を活用した実践型の防災訓練の実施, 防災市民組織に対する支援の充実及び組織間の連携強化を促進します。

②公助による災害に強いまちづくり

- ◆多摩川や野川の氾濫を防ぎ, 頻発化・激甚化する風水害による被害の防止・軽減を図るため, 近隣自治体と連携・協力しながら, ハード・ソフトの両面から必要な対策を推進します。
- ◆災害発生時, 迅速かつ的確に情報を収集し, だれもが必要な情報を得られるよう, 新たなデジタル技術の活用を含めた情報連絡体制の強化を図ります。
- ◆延焼や浸水・冠水を遅延または防止するとともに, 地域住民の避難地の確保にも資するよう, 農地等の緑地空間の保全に努めます。
- ◆災害時にも必要な行政機能を維持できるよう, リスクマネジメントの取組を推進します。
- ◆避難所運営等の災害時の対応において, 多様性の配慮を推進します。

③犯罪が起りにくいまちづくり

- ◆市民一人ひとりの防犯意識の向上にも結びつくよう, 自治会や防犯ボランティア団体等による地域主体の防犯活動を支援します。
- ◆地域との連携・協力のもと, 防犯カメラ等の防犯設備の設置や路上における暗がりの解消など, 防犯に配慮した環境づくりを推進します。
- ◆警察署や消費生活センター等の関係機関との連携・協力のもと, 市民が特殊詐欺の被害に遭わないための未然防止対策を推進します。
- ◆調布市防災・安全情報メールの活用促進等により, 市民への犯罪発生情報や防犯関連情報の迅速な提供に努めます。

現状と
課題

強み(良いところ, 伸ばしたいところ)

- 近年, 増加傾向にある防災市民組織(H26年:99団体⇒H31年:132団体)
- 緑を活用した災害に強いまちづくり
- 台風等に伴う多摩川氾濫の被害を抑えるための施策
- 防犯ボランティア団体等による地域主体の防犯活動, 他

弱み(悪いところ, 改善したいところ)

- △大型台風到来時の浸水への備え
- △公共施設について, ソーラー等の災害への対応を想定した設備が少ない
- △人口1万人当たりの刑法犯認知件数が多摩地域26市中, 多い方から8番目(令和元年), 他